

荒川区 景況速報（平成 29 年 10 ～ 12 月）

あら坊の景気ウォッチング！



全業種の動向

- 1 今期（10～12月）・次期（1～3月）の業況判断
（DI 「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合）
荒川区の今期は 21.8（前回調査時は 29.2）と改善した、次期は 29.1 と悪化が予想されている。全国・東京都の今期～次期をみると、全国・東京都ともに改善が予想されている。
- 2 今期（10～12月）の売上（7～9月と比較した状況）
「増加した」が 30.5%、「あまり変わらない」が 34.1% 「減少した」が 35.4% となっている。
- 3-1 昨今の最低賃金改定による影響
(1) 「ある」が 4.9%、「ある程度ある」が 9.3%、「あまりない」が 29.6%、「ない」が 56.2% となっている。
- 3-2 具体的な影響について
(2) 「人件費の上昇」が 10.3%、「利益率の低下」が 6.1% 「生産性向上の必要性」が 2.4% となっている。

* 調査方法等

今回の調査は、業種別構成比に基づき、抽出した区内中小企業 200 事業所を対象に、今期と次期について調査を行いました。調査票は平成 29 年 12 月 8 日に発送し、165 事業所から回答（回収率 82.5%）がありました。

（問合せ）荒川区 産業経済部 産業振興課 管理係 担当 小山・中条
電話 03（3802）3111 内線 446・476

1 今期（10～12月）・次期（1～3月）の業況判断

(1) 全業種

荒川区の今期は 21.8（前回調査時 29.2）と改善した。次期は 29.1 と悪化が予想されている。
 全国・東京都の今期～次期をみると、ともに改善が予想されている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	7~9月	29.2	10~12月	21.8	1~3月	29.1	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	7~9月	14.8	10~12月	14.4	1~3月	9.3	
東京都（東京都 中小企業の景況）	8月	23	11月	20	12~2月	12	

(2) 製造業

荒川区の今期は 2.1（前回調査 15.6）と大幅に改善した。次期は 8.3 と悪化が予想されている。
 全国・東京都の今期～次期をみると、全国は改善が、東京都はほぼ横ばいが予想されている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	7~9月	15.6	10~12月	2.1	1~3月	8.3	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	7~9月	11.2	10~12月	7.9	1~3月	2.3	
東京都（東京都 中小企業の景況）	8月	17	11月	14	12~2月	15	

(3) 卸売業

荒川区の今期は 22.0（前回調査 38.5）と大幅に改善した。次期は 39.0 と大幅な悪化が予想されている。
 全国・東京都の今期～次期をみると、ともに改善が予想されている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	7~9月	38.5	10~12月	22.0	1~3月	39.0	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	7~9月	11.0	10~12月	13.5	1~3月	2.2	
東京都（東京都 中小企業の景況）	8月	25	11月	22	12~2月	5	

(4) 小売業

荒川区の今期は 43.9（前回調査 50.0）と改善した。次期は 46.3 と若干の悪化が予想されている。全国・
 東京都の今期～次期をみると、ともに改善が予想されている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区 景況速報	7~9月	50.0	10~12月	43.9	1~3月	46.3	
全国（中小企業庁 中小企業景況調査）	7~9月	26.2	10~12月	27.1	1~3月	20.8	
東京都（東京都 中小企業の景況）	8月	39	11月	38	12~2月	22	

2 今期（10～12月）の売上（7～9月と比較した状況）

「増加した」が30.5%、「あまり変わらない」が34.1%、「減少した」が35.4%となっている。
業種別では、「増加した」が、製造業では35.4%、卸売業では34.1%、小売業では22.5%となっている。

3-1 最低賃金が、10月に時給932円から958円に改定されましたが、影響はありますか

「ない」が56.2%、「あまりない」が29.6%、「ある程度ある」が9.3%、「ある」が4.9%となっている。
「ない」及び「あまりない」の合計が、製造業・卸売業・小売業ともに約5分の4を占めている。
「ある」及び「ある程度ある」の合計は、製造業は19.2%小売業では17.1%となっている。

3-2 具体的にどのような影響がありますか

「人件費の上昇」が10.3%、「利益率の低下」が6.1%「生産性向上の必要性」が2.4%となっている。

製造業・卸売業・小売業ともに多かったのは一番目に「人件費の上昇」二番目は「利益率の低下」となっている。
小売業は「人件費の上昇」12.2%「利益率の低下」9.8%製造業では「人件費の上昇」12.5%「利益率の低下」6.3%、卸売業では「人件費の上昇」9.8%「利益率の低下」4.9%となっている。

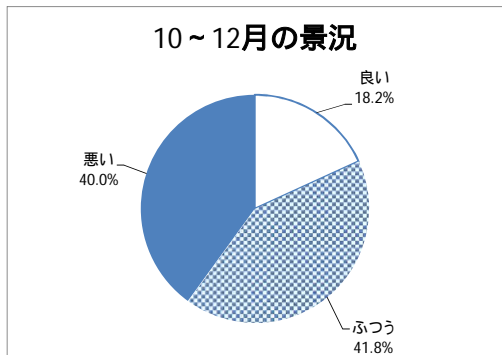
4 主な自由意見等

業種	内 容
印刷A	ホームページにより、問い合わせは多くなっているが、直接、顔を合わせないと商機に結びつけるにはリスクがある。
印刷B	展示会・見本市出展・制度融資など区の企業への様々な支援の結果、売上上昇に繋がっている。
金属製造	8月後半、特に9月以降受注が急減した。12月になっても回復の兆しはない。
菓子小売	お客様で単身者や高齢者の割合が増えているので、客単価があまり伸びない。
その他製造	当社の仕入は輸入比率が高く、為替によって左右される部分がある。
建築卸	売上は前年対比95%程度で推移しており、上昇する傾向が見られない。かなり厳しい13月決算になると思われる。
雑貨卸	外商でなんとか数字を作れているが、店頭に限定するとやはり悪い。
広告	働き方改革に向け、残業時間・休日日数・労働時間・最低賃金など社労士からアドバイスを受けている。
建築	売上は増加傾向だが、利益が薄い。若手の人材確保が難しい。

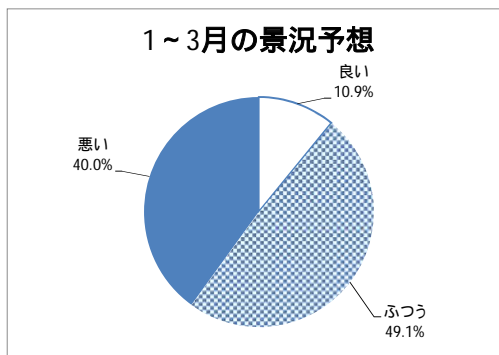
平成29年10～12月 あら坊の景気ウオッチング 全業種

有効回答

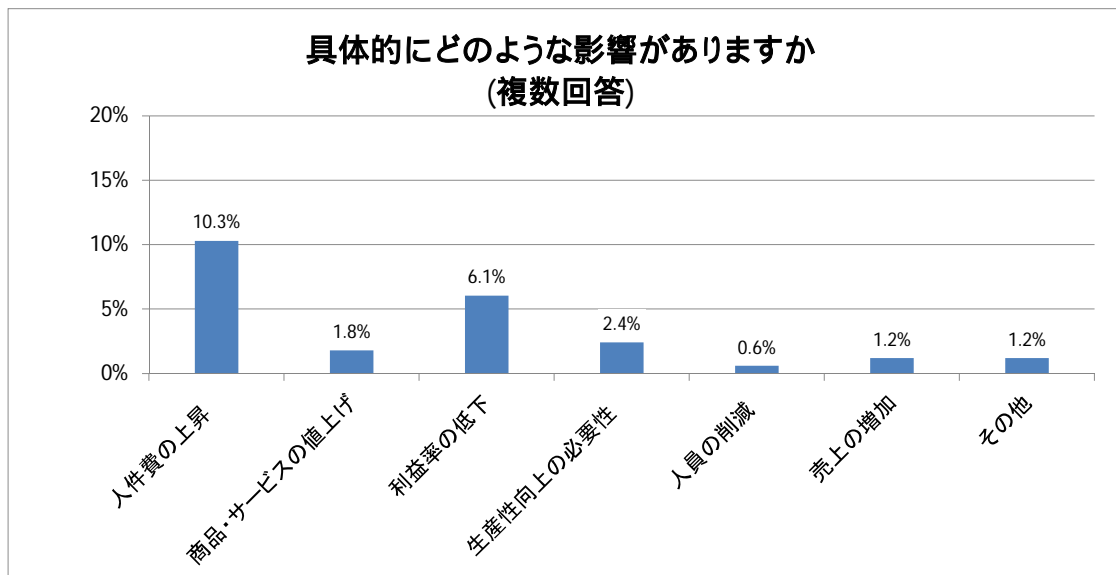
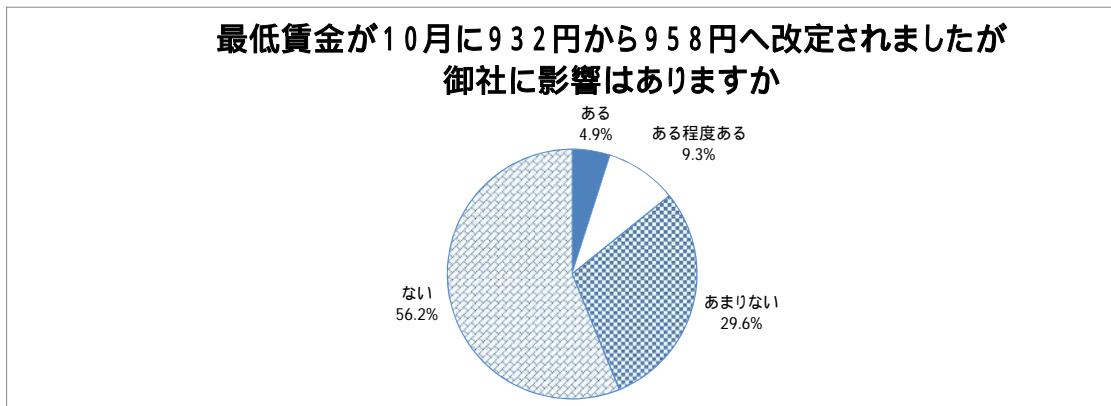
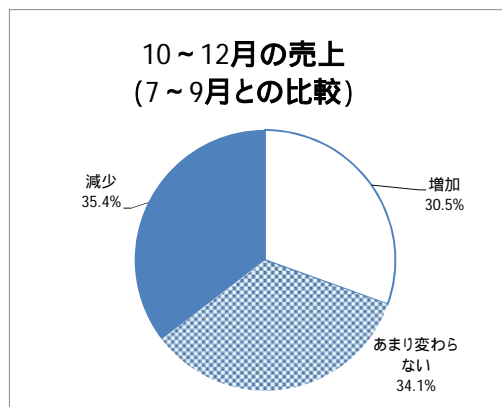
165 事業所

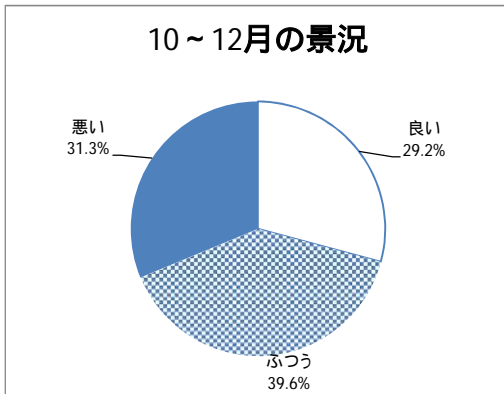


10～12月DI 21.8 = 18.2(良い) - 40(悪い)

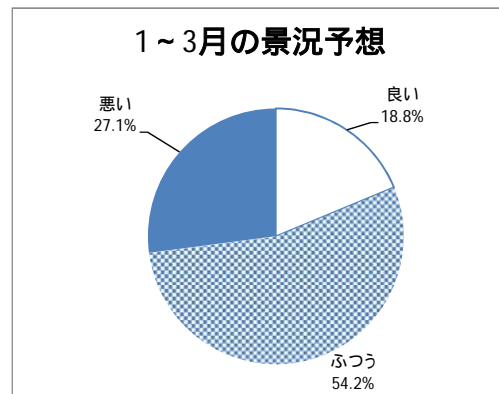


1～3月DI 29.1 = 10.9(良い) - 40(悪い)

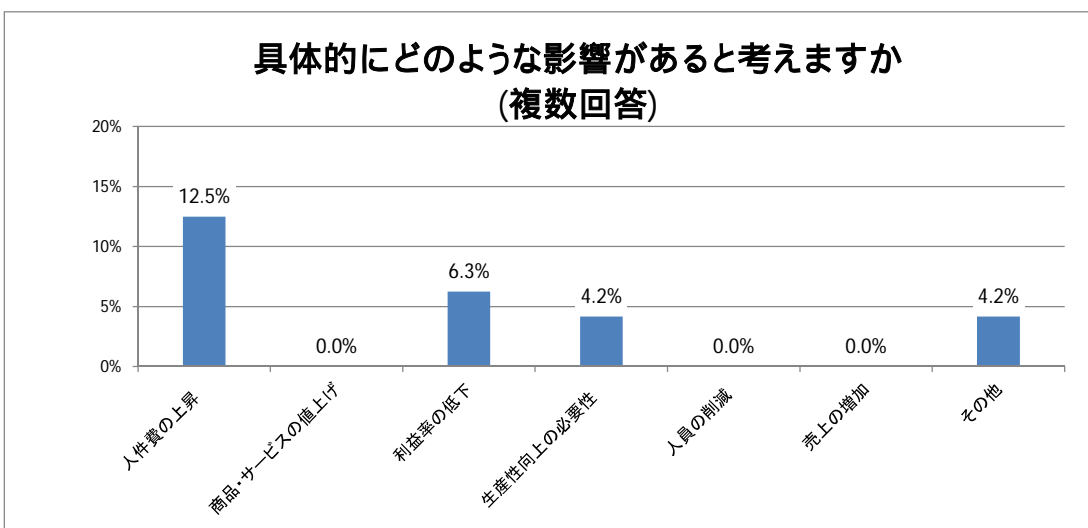
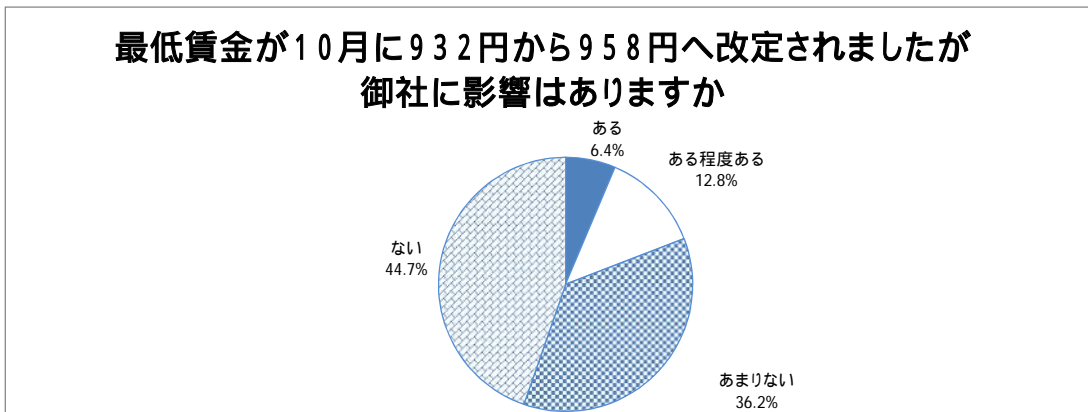
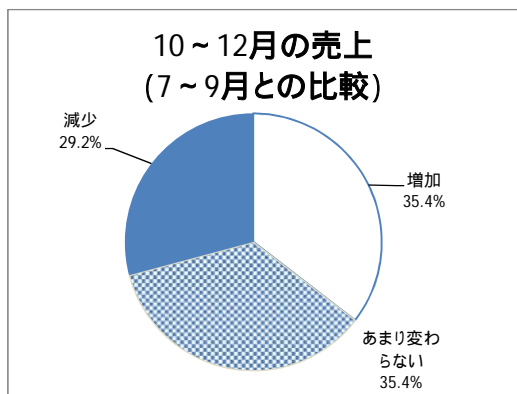


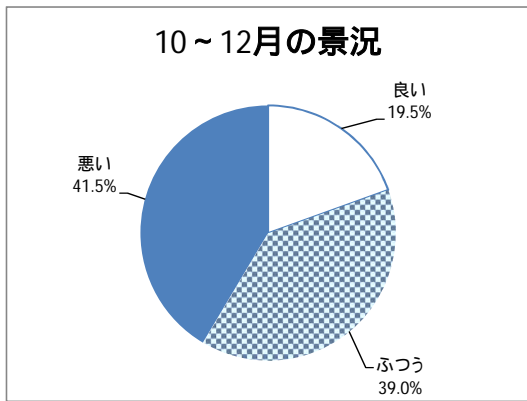


10～12月DI **2.1** = 29.2(良い) - 31.3(悪い)

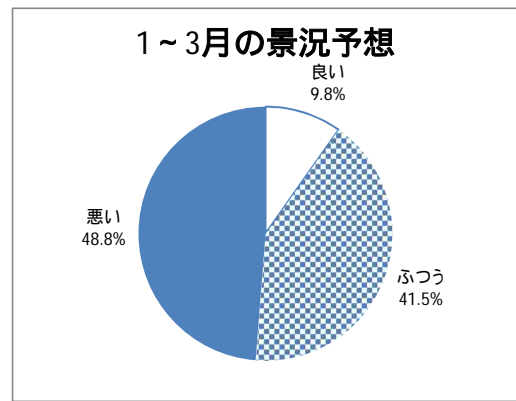


1～3月DI **8.3** = 18.8(良い) - 27.1(悪い)

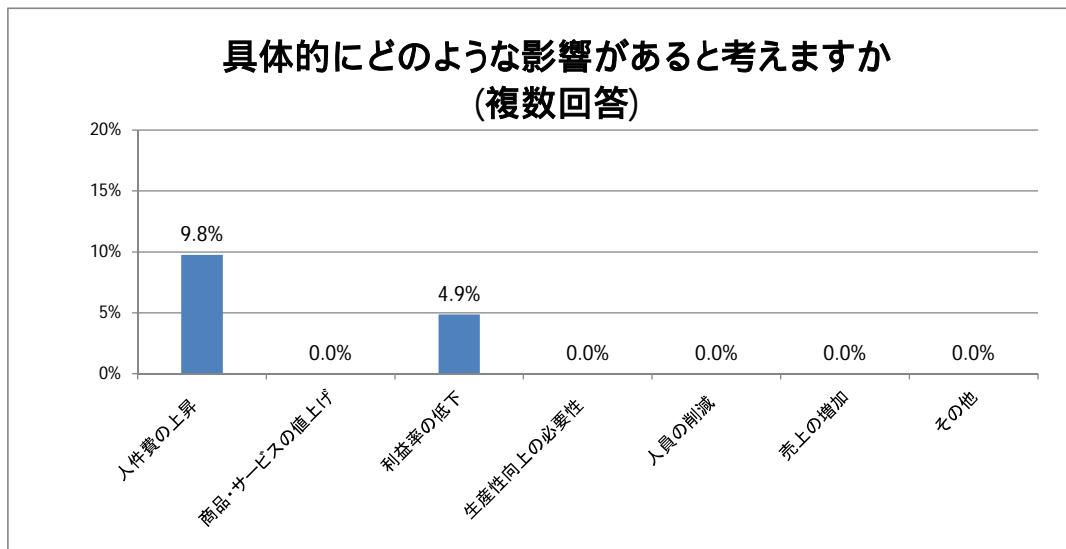
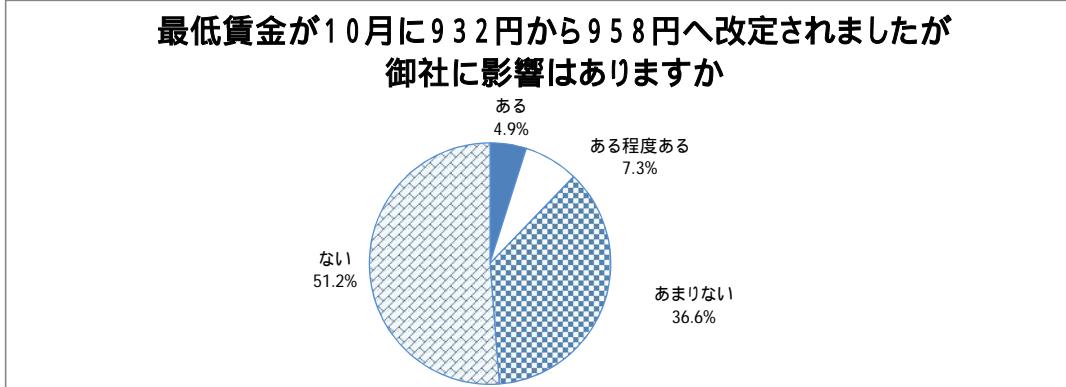
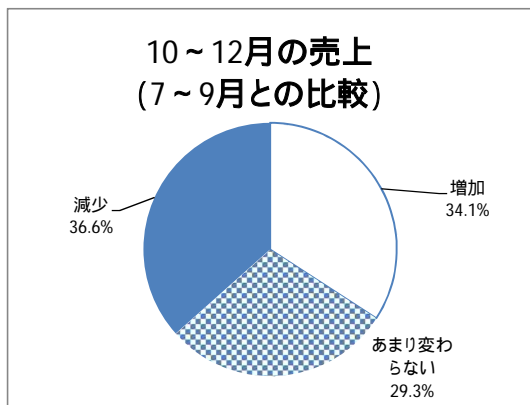


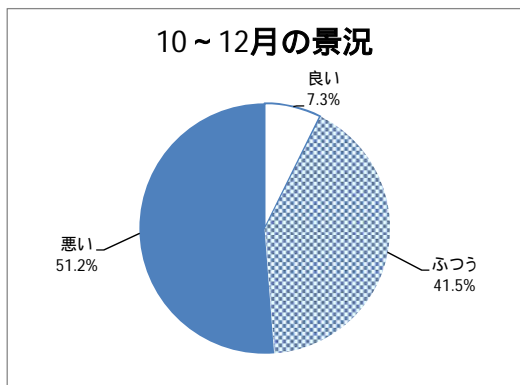


10～12月DI **22.0** = 19.5(良い) - 41.5(悪い)

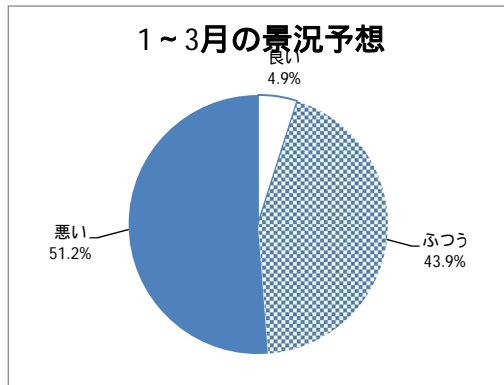


1～3月DI **39.0** = 9.8(良い) - 48.8(悪い)

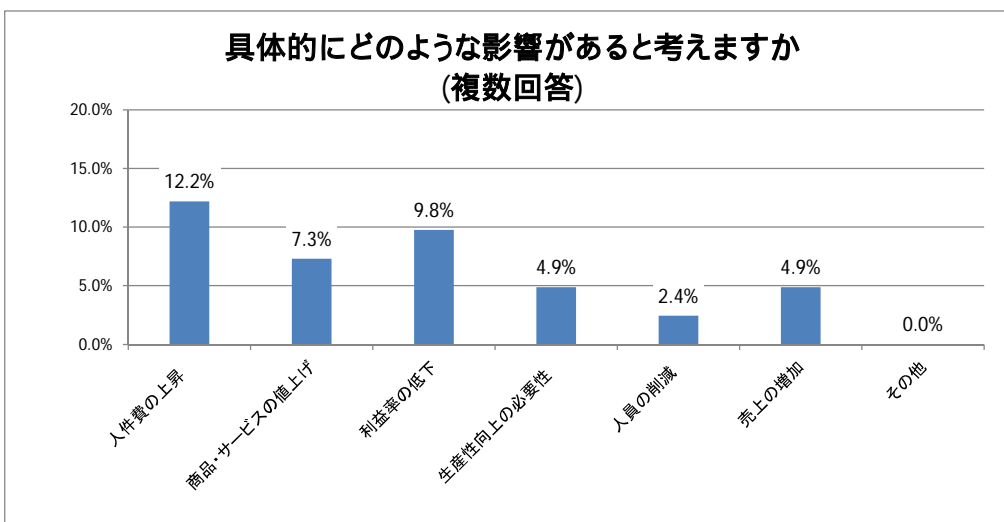
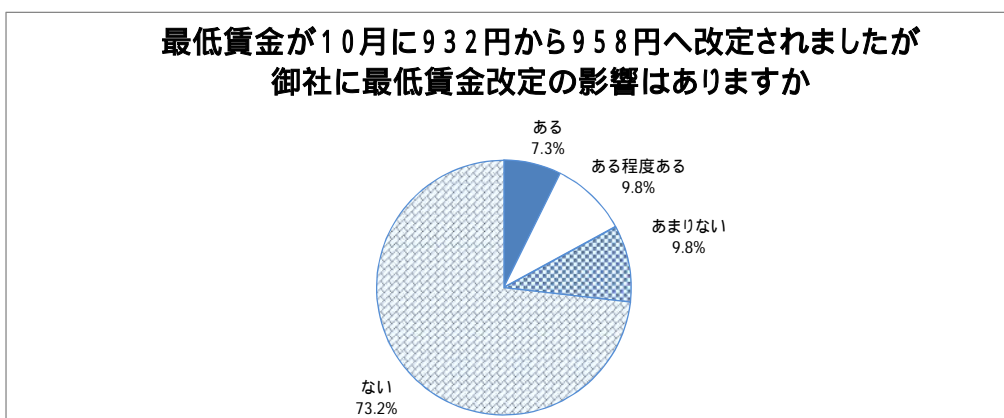
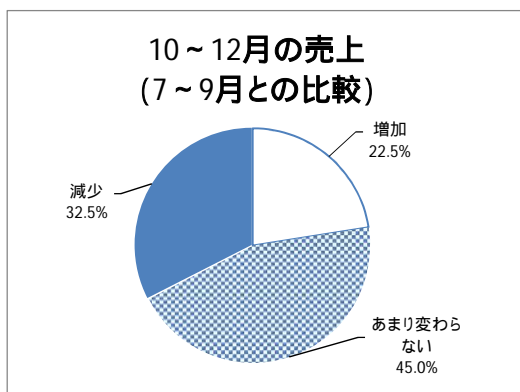




10～12月DI **43.9** = 7.3(良い) - 51.2(悪い)

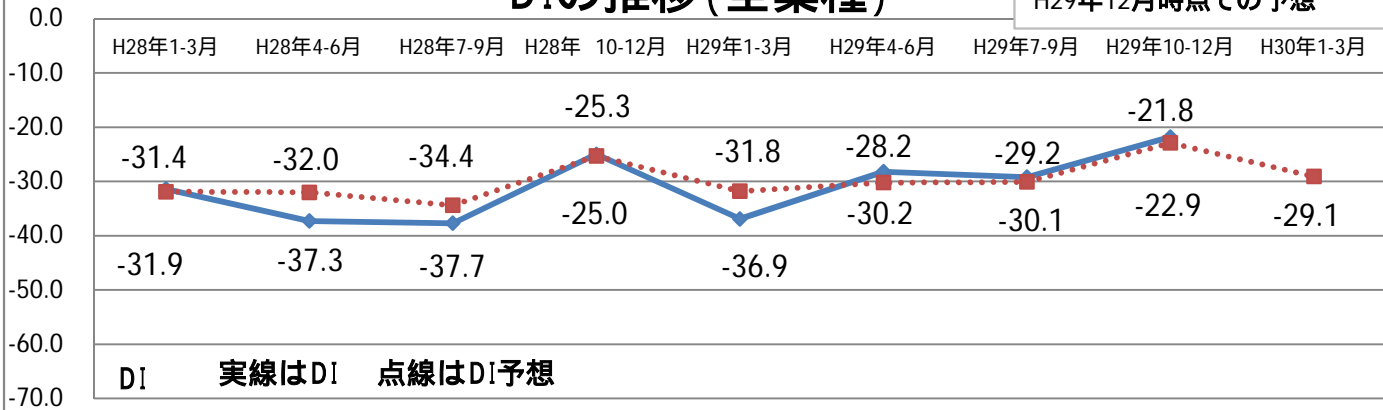


1～3月DI **46.3** = 4.9(良い) - 51.2(悪い)

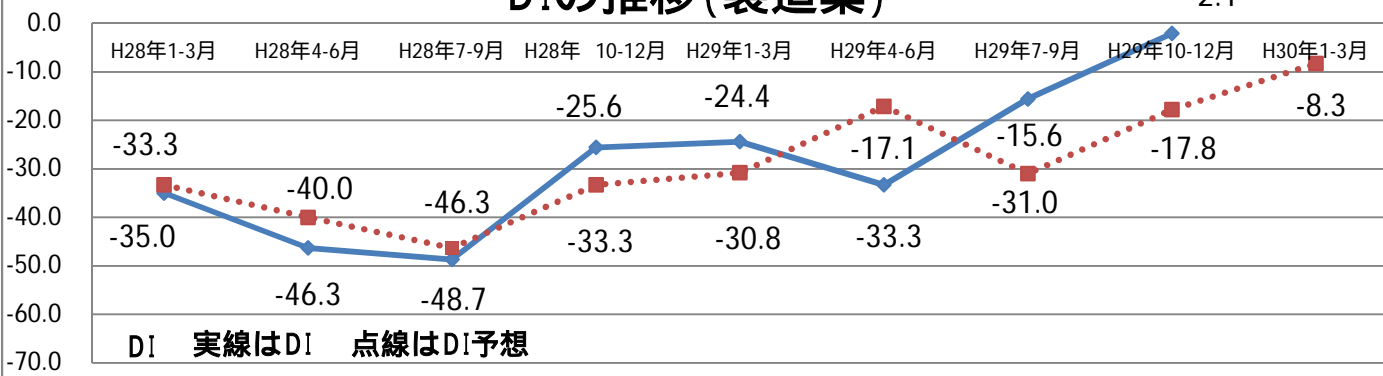


DIの推移(全業種)

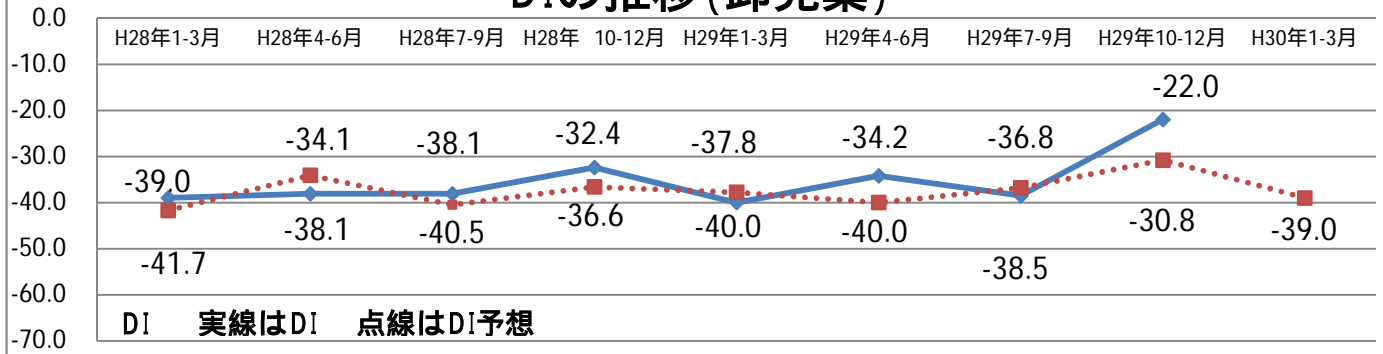
(例)DI予想のH30年1-3月は、
H29年12月時点での予想



DIの推移(製造業)



DIの推移(卸売業)



DIの推移(小売業)

